

平成 29 年度第 6 回石狩市厚田区地域協議会

【日 時】 平成 29 年 9 月 28 日（木） 18：30 ～ 19：30

【場 所】 厚田保健センター

【出席者】 11 名（15 人中）

役 職	氏 名	出欠	役 職	氏 名	出欠	役 職	氏 名	出欠
会長	佐 藤 勝 彦	○	委員	小 山 玲 子	○	委員	中 井 健 太	○
副会長	渡 邊 教 円	○	委員	今 光 江	○	委員	平 賀 敏 和	
委員	大 内 さつき	○	委員	坂 本 悌 生		委員	前 田 和 也	○
委員	大 黒 利 勝		委員	柴 田 志寿子	○	委員	築 田 敏 彦	○
委員	小笠原 英 史	○	委員	柴 田 肇	○	委員	吉 田 美 香	

※正副会長を除き、あいうえお順

支 所 ～ 西田支所長・田村市民福祉課長（兼生涯学習課長）・佐藤主査

事務局 ～ 高田地域振興課長・今田主査・川村主査・中村主任

（地域振興課）

【傍聴者】 3 名

【次 第】 1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 協議事項

（1）第 6 期の総括並びに引き継ぎ事項について

（2）厚田カンパニー構想の組織立ち上げについて

4. その他

（1）第 4 回「北の海」厚田アクアレーン水彩画展について

1. 開会

【（厚）地域振興課 高田課長】

皆さんお晩でございます。第 6 回地域協議会開催の前に、平賀委員、坂本委員が欠席ということで連絡を受けておりますので、ご報告させていただきます。

それでは平成 29 年度第 6 回地域協議会を開会いたします。会長、ご挨拶お願いいたします。

2. 会長あいさつ

【佐藤会長】

今日は、第 6 期地域協議会の最後になります。そういうことで今日は 6 期から 7 期に向けての引継ぎを中心に検討していきたいと思います。よろしくお願いいたします。

3. 協議事項

【佐藤会長】

それでは協議事項に入らせて頂きます。

今日は2点あります。1点目は第6期地域協議会の総括と引継ぎ事項についてと、2点目が厚田カンパニー構想の組織について、この2点があります。

1点目の第6期地域協議会の総括と引継ぎ事項について今田主査お願いいたします。

第6期地域協議会の総括と引継ぎ事項について

【(厚)地域振興課 今田主査】

第6期地域協議会総括と引継ぎ事項についてご説明させていただきます。

前回の会議で第6期の主な取り組みとその成果ということで、ご説明させていただきました。会議の後もご意見のある方、事務局までご意見下さいと案内しておりましたが、意見は無いということで、前回の資料を基に、更に第7期の委員さんにより明確に分かり易くということで、今回の厚田区地域協議会第6期総括ならびに引継ぎ事項を纏めさせていただきました。

第6期では『近説遠来』の具現化をして参りましたので、その中でも重要な取り組み事項である、道の駅と地域おこし協力隊と、最近の協議会の座談会の中で話し合われた地域協議会のあり方、それと6期で必要性を確認した7期の最大の重要事項である厚田カンパニー構想の4点に絞って、7期で取り組むイメージをつかみ易いようにということで作成させて頂いております。案を読み上げさせていただきます。

第6期地域協議会では「近説遠来」の実現に向け、より具体的な議論が進められ、それを基に地域では様々な取り組みが行われてきました。

その一つとして、平成30年春オープンを迎える「道の駅」では、地域の人が係り・携わり、この施設が地域振興の核となり、住んでいる人に喜んでもらえる施設となるよう、建設の具体的な提案を行いました。

また、区外からの「誘客」に対しては、訪れた人がゆっくり・ゆったり厚田を楽しむ「滞在」「周遊」を導き出すための具体的な取り組みの必要性が確認され、その具現化に向け「厚田地域着地型観光町づくり協議会」を通して、地域資源を活用した『観光商品の開発』『おもてなし講座』の開催など取り組みを展開してきました。

今後は、道の駅を核として朝市や市街地、キャンプ場、さらには市内全体へと人が行き交う流れを生む施設となるよう、地域協議会として提言して行くことが必要です。

次に、地域おこし協力隊は、第1期導入の効果を検証し、新たな“視点・感性”は地域活性化に引き続き必要と判断し、本年5月に第2期協力隊の導入となりました。

今後も引き続き導入の効果を検証し、地域おこし協力隊の必要性について地域と共に検証を重ね、将来のあり方も含め協力隊に求める地域の声を導き出すことが必要です。

一方、地域協議会のあり方や多くの住民が地域振興に係るための様々な取り組みについて座談会方式で議論が交わされ、より一層自治会との連携・協力が重要であることが確認されました。

今後においては、住民一人ひとりの想いや意見、また、地域協議会における情報を地域全体に伝える仕組みづくりに向け、様々な取り組みを期待します。

また、平成33年3月には地域自治区設置期限が満了となり、将来の厚田区のあり方、方向性について改めて地域の声を集約し、その方向性を導き出すことが、第7期協議会における重要な役割となります。

高齢化と人口減少の波は、厚田のみならず、日本全国いたるところで直面している課題です。いつまでも、いくつになっても住み慣れた地域に住み続けたい、その想いを叶えるためには、地域が互いに支え合う「共助」の街・仕組みが不可欠です。

「厚田カンパニー構想」は、身近な困りごとの解決に向け、人と人を繋ぐコーディネート役を担います。「出来ることを」「出来る人が」「出来るときに」地域住民が主体となって創りあげる「厚田カンパニー」は「近説遠来」における「近説」であり、「遠来」の「道の駅」と合わせて地域自治区振興の両輪となります。

また、この「厚田カンパニー」構想は、地域協議会の今後のあり方とも大きく関係し、厚田区の将来を左右する重要な課題であり、第7期最大のテーマとなります。

以上これらのことを念頭に置き、引き続き「住民自治の推進」「協働のまちづくり」を基本として、より一層「近説遠来」が実感出来る取り組みを第7期において推し進めて頂きたいと思います。

第7期の会議につきましては市長からの委嘱状の都合で決まっておりますので、10月24日(火)17時30分から、場所は望来みなくるを予定しておりますので、併せてご報告いたします。

【佐藤会長】

ありがとうございました。第6期の総括ならびに引継ぎ事項について、今説明頂きました。これは審議事項ではなく、こういうことで纏めましたということで、これを7期委員の方々に、今ご説明ありましたようなことを期待するということでございます。引継ぎは座談会及びそれに関してご意見を委員の皆さんから頂いたのを、おおまかに纏めて、このような結論になったと思います。この引継ぎ事項につきましては、問題がない限り、引継ぎするという事でよろしいでしょうか。

【築田委員】

全体的には問題ないんですけども、7期に引き継ぐにあたって、最後の『第7期において推し進めてください』という部分ですが、決め付けた感じでお願いするのではなく『推し進めて頂きたいと思います』などとしたほうが、やわらかい印象を与えるのではないのでしょうか。

【佐藤会長】

そうですね。ということでございます。文言をちょっと直させていただきます。その他よろしいでしょうか。それでは二つ目の議題に移らせて頂きます。
厚田カンパニー構想の組織について、今田主査お願いいたします。

厚田カンパニー構想の組織について

【(厚) 地域振興課 今田主査】

よろしくお願いします。

厚田カンパニー構想の組織については、A4の資料をご用意しております。

今回実行組織を立ち上げるということで、ご説明させて頂きたいんですけども、厚田カンパニー構想はこの協議会でも何度か説明させて頂いております。目的については、住民が共に支え合う街づくりを図るということで、今総括でも出てきておりましたけれども、『いつまでもいくつになっても住み慣れた厚田の地で生活が出来ること』、『出来る人が出来るときに、出来ること』の仕組みづくりを厚田でやっていこうということを、目的としております。

スケジュールについてですが、すでに厚田カンパニー構想に関しては、地域協・五連の会長会議や、民生委員児童委員協議会でも説明し、了承をもらえているところです。市役所内部においても、市長への説明や、部長連絡会議、支所内での説明も済んでおりまして、了解を得ているところです。今後についても、五連の会長さんには説明をしておりますが、一つ目として各自治会の役員会、五連のその下のその組織の各町内会・自治会の会長さんへの説明がこれから10月末までかけて、役員会にお邪魔して、各町内会さんへ説明をさせていただきます。

平行して、組織の立ち上げというのを考えているところです。組織の立ち上げ、時間のない中でやっていかなければいけないのですが、まず立ち上げて、聞き取り調査内容の素案を基に協議して、アンケート内容を確認するというのが10月中。その後、調査・集計をするというのが、年内ということになります。その結果を基に、具体化・具現化した動きということで、今後の厚田カンパニーの取り組み内容だとか仕組み作りを本格的に開始していければと考えております。

組織構成の案ですが、下の方に書いております各地区からのバランスを考慮して、自治会・地域協議会・民生児童委員会・支所の4者が一体となって取り進めるよう、メンバーを抽出していく。地域協は2枠で囲っておりますけれども、今6期から7期への移行時期ではありますが、6期で承認して頂き、具体的なメンバーについては7期の協議会の中から事務局の方で詰めさせて頂くよう一任をいただければと思います。

以上です。

【佐藤会長】

ありがとうございました。この厚田カンパニー構想につきましては、何回かこの地域協議会でもご説明あったと思います。その都度ですね、ご意見を頂いて節目節目でご承認頂いてきたところであります。

今回も大体、目的・スケジュールなどは今までも申し上げてきたのですが、今回組織構成というのをこういう形で進めたいということでございます。この組織構成は案でございます。まず各地域と各地域の中から自治会・地域協の委員の皆様・民協の地域の皆様・そして支所から担当の方が出るようになっております。

これは合計で5つの地域と総括と含まれております。けっこうな人数になりますね。と、いう組織構成になります。このような形でカンパニー構想を進めていきたいというご提案になります。特に今言ったように目的とスケジュールはご理解頂いているかと思いますが、組織構成についてはこれでいいかどうか、皆様からのご意見頂きたいと思っております。

これは各地域のバランスを非常にとった人数構成だと思います。これは目的や何かで今までご説明してこられたと思うのですが、一つは“近説遠来”の【遠来】は道の駅で実現されます。そして【近説】地域に住む人々が中心としたのがカンパニーということになります。近説遠来を実現するための車の両輪がこういう構造の一つだと思います。組織構成は大体こういう組織構成ということでもよろしいでしょうか。6期で大体こういう組織構成でいいということになりましたら、7期に引き渡して実際に実行して頂くということになります。よろしいでしょうか。大体全体的に厚田区全体のバランスをとったそういう地域の組織体ということになるかと思っております。それではこの構想についてはよろしいということで、来年に向けて組織を作って頂きたいと思っております。それではその他2点あります。

4. その他

第4回 北の海厚田アクアレール水彩画展について

【厚田アクアレール実行委員会 築田実行委員長より】

こんばんは。

この春に実行委員長の大黒委員が亡くなって第4回もどうしようと、実行委員も大変悩みましたが、大黒実行委員長の思いも含めて、第4回を大成功させようと準備をしております。第3回までやって頂いた審査委員長の宮川先生も亡くなり、審査委員を決めるのに時間が掛かりまして、青野さんという方に引き受けてもらえることになりました。また、大黒審査員の代わりは道都大学の美術を教える安田先生に務めてもらうことになりました。

審査委員が決まりやっと作品の公募チラシを作ることが出来ました。大きく変わったところは、大きいサイズ部門と小さいサイズ部門の二つを作ることになりました。今までは30号以下ということで一本に絞っておりましたが、30号以下で括ってしまうと、水彩画教室に通っている方は、サイズが大き過ぎて出したいけど出せないという声が大きくなりまして、今までの30号から10号までの大部門と8号以下で概ねスケッチブックくらいの小部門も作ることになりました。その両方にそれぞれ大賞・入選を決めさせて頂くことになりました。今やっと公募が出来るようになりまして、道の駅や各水彩画教室等にはチラシとポスターを送らせて頂いておりますけれども、来年の7月22日～8月5日にかけて、厚田総合センターで展覧会をやる予定でおります。と、ということで、今準備を進めておりますので皆様にご紹介させて頂きたいと思っております。よろしくお願いいたします。

それと併せて第4回展に向けて厚田のいい所を紹介する目的でスケッチマップを作らせて頂きました。こんないい所があるので、スケッチに来てくださいというマップです。先日、ある水彩画教室の方がバスで来て頂いて厚田漁港と嶺泊パーキングで絵を描いて頂いたのですが、なかなかいい絵を描いて下さっております。アクアレールに出して頂けますかと36名に聞いてみたところ、実際に出してみたいという方は5～6名だったのですが、手応えも感じております。この写真に使っているこの絵は、第2回であなたが選ぶ特別賞を受賞した望来を題材にした作品をポスターに使わせて頂いております。

そういうことでよろしくお願いいたします。あと付け加えることがありましたら、中村さんお願いします。

【(厚) 地域振興課 中村主任】

アクアレール事務局をしております、中村です。築田実行委員長よりお話がありました通り、公募を開始することが出来たということでご紹介をさせて頂きました。

一点僕から【厚田賞】というのを説明させて頂ければと思います。第3回展までは【あなたが選ぶ特別賞】ということで、審査員ではなく一般の人の投票で選ぶ賞を作っていたのですが、第4回展からは、これを厚田賞に変えて、厚田の人が厚田を描いた作品を投票で選ぶ賞を作っております。

アクアレールに、厚田の絵をより多く出して欲しいというのと、もう一つは厚田の人に沢山観覧して頂きた

いということです。頑張って厚田の絵を沢山集められるように実行委員頑張っていきますので、よろしくお願いいたします。以上です。

【佐藤会長】

ありがとうございました。この厚田スケッチ散策マップはどこに置いてますか

【(厚)地域振興課 中村主任】

市役所と花川、厚田、各分館含めて図書館に置いてます。

【佐藤会長】

ありがとうございます。

第4回厚田アクアレール、作品募集開始されました。素晴らしい絵が厚田に貯まっていくのもそうですが、第4回の目玉は厚田に来て厚田の風景を描いてもらうという明確なコンセプトが出ておりますので、一つの素晴らしいアイディアだと思います。もし皆様方からご意見等ありましたら。こうしたらより一層厚田の絵を描いてもらえるんじゃないかということがありましたらどうぞ。よろしいですか。

2点目は厚田総合センター大ホールの平成30年度の使用について、田村課長よりお願いいたします。

厚田総合センター大ホールの平成30年度の使用について

【(厚)市民福祉課 田村課長】

皆様こんばんは、田村です。アクアレールの展示会に伴うことで、厚田総合センター2階の大ホールについては、今日の回覧で区内配布されているものなのですが、来年6月30日から8月9日まで準備と片付けも含めて41日間をアクアレールで使用をするため、使用が出来ないということで区民の皆様にお知らせをしました。この期間につきましては、葬儀で使えないということでお知らせをしております。あくまでこれは特例的な扱いということを考えておりまして、来年のこの期間を除きましては今まで通り、葬儀優先で使っていきたいと考えております。

このお知らせにつきましては、今後今回含めて3~4回、もう少し増えるかもしれませんが、周知していきたいと考えております。また、使用期間につきましては、今後また実行委員会とも相談をして決めていきたいと思っておりますので、また今後周知していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

【佐藤会長】

ありがとうございました。このアクアレール水彩画展での大ホールの使用について、お知らせがありました。これはよろしいですね。そういうことでやっていくということになりますので、よろしくお願いいたします。

それでは今日用意いたしました協議事項、報告事項が全て終わりまして、第6期の会議がこれで終了となります。それで、今回で任期満了となる委員さんが7名いらっしゃいます。まず私、柴田肇委員、柴田志津子委員、前田委員、中井委員、今日欠席されている坂本委員と吉田委員の7名です。本当に2年間一生懸命地域のために、或いは地域協議会のためにご意見を言って頂いたりしてもらいました。一言ずつ今までの2年を振り返りながら何か一言をお願いしたいと思うのですが。まずは柴田肇委員からお願いいたします。

【柴田肇委員】

この間のふるさと祭りでイベント後ぐったり疲れまして、体力的にも無理がきかない年齢になったなと自覚しておりますので、また別の角度で来年から新しい道の駅が出来ますので、当別に負けないような当別は物でPRしておりますが、厚田はもっと内容の深い道の駅にしていけたらいいなあと思いつつ、何らかの

形で応援していきたいなと思っております。二期に渡って勤めさせて頂きましたので、大変にお世話になりました、ありがとうございました。

【佐藤会長】

ありがとうございました。柴田志津子委員お願いします。

【柴田志津子委員】

こんばんは。私も二期女性部の代表として務めさせて頂きましたが、大した意見も出すことがあまり出来ず、ただ参加させて頂いたという感じになってしまいましたが、2年間ありがとうございました。

【佐藤会長】

ありがとうございました。前田委員お願いします。

【前田委員】

なかなか来ることが出来ず、皆様にはご迷惑をお掛けしたなと思ってます。柴田さんも言ったように、違う角度から僕も応援したいと思いますので。またよろしくお願いします。ありがとうございました。

【佐藤会長】

地域協議会の中で一番若くて、会議に来るだけで10個も20個も若くなった気になりました、中井委員お願いします。

【中井委員】

2回位しか出席出来ていませんが、こういう協議会という委員会に参加出来て嬉しかったです。ありがとうございました。

【佐藤会長】

最後に私も結構長い間皆様と一緒に地域協議会をやってきたわけですが、何だか柴田肇委員が言ったようにそろそろ年かなと思うのですが、何かこう全国的に見たらこの地域を元気にするとかやっているのはお年寄りなんですよ。そういうのを見ているとこの時代っていうのは「もう年だから駄目かなあ」とかって、私の父もそうでしたが、「もう年だな」って口癖で、私の若い頃は『いやあ、もう年だからっていうのは・・・』と思っておりましたけれども、自分が同じくらいの年になってみると、やっぱり年には勝てないなと、これが正直な意見です。それで、一言だけ地域協議会というか、地域に関わるお年寄り含めて地域の方々みんなですが、今まで少子高齢化で大変だとみんな言ってきましたが、少子高齢化で大変だと言い始めた頃は皆アイデアを出すだけで十分だったんです。お年寄りの方々がみんなああすればいい、こうすればいいってアイデアを出して、できれば若い人がそれを実行して欲しい。全国的に間に合っていました、最近それでは間に合ってこなくなりました。どういうことかと言いますと、アイデアを出すだけではもうだめなんですね。要するに実行する、手足が動く間は、地域で手足を動かすということなんですね。こういうことで成功している地域が結構あるんですね。で、私が地域協議会に関わるようになって12年になります。会長になって6年です。12年間ずっと一緒だったのが高田さんだったんです。これは高田さんと一緒に心中する覚悟でなければ出来ないなと思っておりましたが、こちらはやはり若いです。どんどん吸収してどんどん自分で実行していくんですね。私も最初の頃は相当溝を開けていましたが、要するに亀の甲より年の功。もう年季が入ってますので、言ってることは結構アイデアがあつて。でも最近はどうも逆。高田さんのほうがアイデアも実行力もあります。

もう高田さんに任せてもいいなと思ったのは、全国的にうまくいっている地域は地域住民と役所の人間がうまくいってるんですよ。私が最初に行った所は『役所がやってくれないから俺たちがやってやるんだ』と自慢している所が結構あったんですね。それが5年10年していくとやっぱり挫折していくんですよ。やっぱり役所っていうのかな、それと地域とは長い間時間かけてもいいから地道にやっていくような所はある程度うまくいって元気になっていってるんです。これ日本全国どこ見てもそうなるんです。だから厚田はある意味では成功してると思うんです。地域と役所の人間が結構うまくいってる一つの事例ではないかと思って、私も安心して任せていけるということで、任期満了ということで今の7人の方々と一緒に次のステージに向けて手足を動かしていきたいと思っております。

この厚田は何かをやるというと、皆顔が会うのです。どっかで何かをやると、地域協議会で顔を会わせた皆さん達とどっかで顔を会わせるので、死ぬまでよろしく願いいたします。高田さん、別れるの寂しいですよ。それでは勇退というか、任期満了の皆さんも継続していく皆さんも地域のために是非またどこかでお会い出来るし。特に私が一番素晴らしいなと思ったのが、中井委員たちがやっていた「俺たちの夏祭り」です。ああいうイベントが一番地域を元気にするんです。僕は中井委員が地域協議会の委員で良かったなあと思いました。先ほど2回しかと言っておりましたが、回数ではないんです。そういう心意気ってというかね、そういうのが地域を元気にしていくという。地域協議会の委員として良かったなとつくづく思いました。中井委員ご苦労様でした。そして6人の委員お疲れ様でした。

これで第6回厚田区地域協議会終わらせて頂きます。ありがとうございました。

5. 次回会議などの日程について

平成29年10月24日（火）17時30分～ 望来コミュニティセンターみなくる

6. 閉会

平成29年9月30日 議事録確定

石狩市厚田区地域協議会
会長 佐藤 勝彦